



社外からの安全・高速な 遠隔操作を可能にしたDESKTOP+Plus 迅速な障害対応、 より付加価値の高い顧客サービスを実現

大阪を拠点とする光世証券株式会社様では、2011年7月のオンライン取引システムの稼働に伴い、24時間体制のシステム監視が必須となりました。しかし、当初のアラートシステムでは、社内PCからでない原因調査や復旧作業が行えず、深夜・休日中にアラートメールを受け取っても、迅速に対応できない問題がありました。そこで、KELが提供するPC高速リモート制御サービス「DESKTOP+Plus」を導入。これにより、iPhone/iPad、自宅PCといった社外からの安全かつ高速な遠隔操作が可能になり、迅速な障害対応の体制が実現しました。その導入の背景と効果について、情報システム部門の森博一氏、権藤信明氏にお話を伺いました。

CASE STUDY

光世証券株式会社 様

ユーザー導入事例

自己資本規制比率、国内1位 富裕層にフォーカスした オーダーメイド営業が特色

大阪の金融街・北浜に独立系の証券会社として創立して50年の歴史を数える光世証券様。堅実経営をモットーに、自己資本規制比率(2,058.7%[2011年9月末現在])という国内上場の証券会社の中で第1位を誇ります。多くに向けた均一化されたサービスではなく、富裕層を中心とした営業が特色で、お客様一人ひとりの資産運用ニーズに適切な商品や的確な投資情報を提供する「オーダーメイド型」のサービスを展開しています。

またもう一つの事業の柱であるディーリング部門では、日本における先物取引の初期の頃からデリバティブ中心のディーリングに取り組み、わが国の市場において、先駆的な役割を担っています。

同社の発展においても、IT環境の整備は重要な役割を果たすもので、情報システム部門では社内・社外向けのシステム全般の運用・管理に携わっています。

「当社の特色は、自社ですべて運用・管理を行っているところです。基幹システムの運用・管理から顧客向けWebシステム、ホームページおよび社内ITインフラ等、一手に引き受けています。2008年にはメインフレームからIBM System i に基幹システムをリプレース、さらにモバイル環境では、iPhone/iPad を活用した、外出先での社内メールの確認や情報の取得が行える環境を早くから構築してきました」(システム事業部門 システムソリューショングループ 次長 森博一氏)

24時間体制の監視が必要 社外からの作業を可能にするために 「DESKTOP+Plus」を選択

一方、対顧客向けには、従来の対面営業を基本としつつも、ネット取引の利便性を提供するため、先物オプションのオンライン取引システムを自社開発し、2011年7月より稼働させています。これにより、上場デリバティブ全商品が対面およびインターネットの両方から取引できる環境が整備されました。しかし、このオンライン取引を円滑に進めていくには、あらたな課題をクリアしなければならなかったといえます。

「お客様に安全かつ安心してオンライン取引をご利用いただくためには、24時間のシステム監視が必要となります。そこで、各機器の稼働状況、IBM System i のメッセージ監視を常に行い、警告を感知した場合は、情報システム部員のiPhoneにリアルタイムでアラートメールが送信される環境を構築しました。しかし、社内のPCからでない原因調査や復旧作業が行えず、夜間や休日中にアラートメールを受け取っても迅速に対応できないといった課題が残りました」(システム事業部門 システムソリューショングループ 部長代理 権藤信明氏)

その一方で営業部員からは、外出先から社内の基幹システム上の情報資産や株価情報を活用したいといった要望が上がっていました。

これらの課題を解決するため、権藤氏はあらたなソリューションの検討に着手。要件として、①WindowsPC、iPhone/iPadでも利用可能であること、②セキュリティが強固であること、特にデバイス制限(MACアドレス制御)ができること、③社内に管理サーバーを設置しないこと、の3点を



定め、いくつかのソリューションを探したところ、最適だったのが、KELが提供するPC高速リモート制御サービス「DESKTOP+Plus」だったといえます。

「KELのリリース記事を見て、すぐに問い合わせしました。DESKTOP+Plusならば、社外からでもWindowsやiPhone、iPadから会社のPCを遠隔操作できます。デバイス制限(MACアドレス制御)も可能で、接続ログも監視できる。クラウド型のサービスなので、自社でサーバーを管理する必要もありません。まさに我々の要件にピッタリでした」(権藤氏)

特にWindows PCからのアクセスは、情報システム部員がこだわった点だといえます。「我々、情報システム部員としては、PCから確実にリモート操作できることが重要でした。その点、DESKTOP+Plusならば、まるで会社のPCのように、ストレスなく基幹システムのコンソール画面を操作できます」(森氏)

3G回線での高速性 KELが提供する信頼性 少人数から始められるコストメリット

さらに決め手となったのは、iPhone/iPad利用時の3G回線での高速性だったといえます。「Wi-Fi環境では、他社のサービスも差がありませんでしたが、3G回線では圧倒的にDESKTOP+Plusの方が早く、安定していました」(権藤氏)

また近年、同様のクラウドをベースとしたサービスが数多くリリースされる中で、どれが自社にとって最適なサービスなのか判断するのは難しく、権藤氏はその点について次のように語ります。

「コスト面だけみれば、他にも候補が考えられたのですが、製品やサポートの信頼性に不安がありました。そうした中で2008年のIBM System i へのリプレース時から付き合いのあるKELが提供するサービスということは、我々にとって大きな安心材料でした」(権藤氏)

現在、5ライセンスで情報システム部門および営業部門の主メンバーで利用していますが、近い将来、全営業部員までに拡張する予定だといえます。

「月額制で少ないライセンス数から始められるのもDESKTOP+Plusのメリットですね。iPhone/iPad用のアプリが無償で配布されている点も今後増やすことを考えると導入コストを抑えられるポイントです。操作も直感的で使いやすく、営業部員からの問い合わせなどもなく、スムーズに利用できています」(権藤氏)

DESKTOP+Plusの導入により、情報システム部員は夜間や休日中に自宅から社内の各機器にアクセスし、稼働状況をすぐに確認できるため、作業にかかる負荷を大幅に軽減できているといえます。一方で営業部員は、お客様の目の前でiPad上からリアルタイムに口座情報や時価情報などを提供でき、より付加価値の高い提案が可能になったといえます。ノートPCの持ち出しは全社的に禁止されているため、

DESKTOP+Plusの利用イメージ



iPhone/iPadといった手軽なスマートデバイスの活用はとも評判が良いようです。

セキュリティ面についても、DESKTOP+Plusの二重化されたログインシステムとアクセス管理により、情報流出および制御されるPCを保護。ユーザーとリモートPC間はSSL通信を適用し、相互通信されるデータは暗号化の処理がされています。

「外部の端末にはデータが一切保存されないため、万一の紛失や盗難時でも情報漏えいのリスクを最小限に抑えられます」(権藤氏)

さらなるサービス向上へ モバイル環境を整備 BCP対策も含め、KELに期待

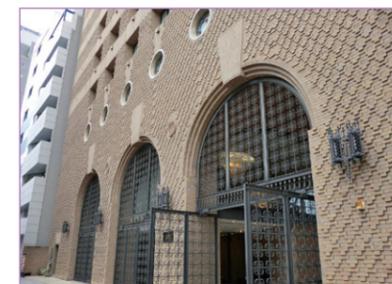
現在、営業部員に関しては、リモート接続専用の端末を用意し、利用状況を監視しているといえます。

「運用状況を見ながら、また会社としての利用ポリシーを固めながら、ユーザー数を段階的に増やしていく予定です。最終的には専用端末ではなく、社員個々のPC端末へと活用枠を広げたいと思っています」(権藤氏)

光世証券様では、今後もモバイル機器の利用を積極的に進めながら、お客様への迅速な対応、的確な情報提供が行える環境を整備し、さらなるサービスの向上をめざしています。

またBCP対策としても、今回のソリューションのような機能を利用した障害時対策の重要性は増しており、在宅勤務が可能なIT環境の整備も進めていきたいと語ります。

「その一歩としても、今回のDESKTOP+Plusは我々にとって非常に価値があるものです。これまでも機器の導入から技術サポートまで、KELにトータルにお願いしてきましたが、今後も良きパートナーとして、ともに解決策を考えていければと思っています。当社のシステム構成を熟知しているKELならではの提案を期待しています」(森氏)



K 光世証券株式会社

光世証券株式会社

本社所在地：大阪市中央区北浜2-1-10
創業：1961年4月

●光世証券株式会社ホームページ
<http://www.kosei.co.jp/>

TOKYO STOCK EXCHANGE × KOSEI SECURITIES

東証デリバティブ全商品取扱



光世証券株式会社
システム事業部門
システムソリューショングループ
部長代理
権藤 信明氏